

CIGS 瀬口清之 講演会

『アジア太平洋地域の課題と日中関係の展望』

2017年は米国で新政権が誕生し、中国では習近平政権が第2期に入る。安倍政権が3期9年まで延長されれば、日米中3国の2020年までの政権基盤が固まることになる。

2020年までを展望すれば、経済面では中国の構造改革推進と13次5か年計画期間中の成長率目標6.5%の達成、日本の物価上昇率2%超え・ゼロ金利からの脱却・消費税引き上げ、米国経済の長期停滞からの脱出などが各国の主要目標となる。

一方、外交・安全保障面では北朝鮮リスク（韓国・日本へのミサイル攻撃）、南シナ海および東シナ海の緊張関係（中国のナショナリズムの高まり）、米国新政権の外交方針（内向き化・保護主義化リスク）などが主要な注目点である。

こうした中長期展望を念頭に、中国经济の行方、日中経済関係のあるべき姿、日本がグローバル社会において果たすべき役割等について、論点を整理し、リスクの所在とそれに対する対応策を考え、中長期的な視点から政策提言を行いたい。

<開催概要>

日 時： 2016年11月29日（火） 15:00-17:00（14:15 受付開始）
会 場： 一橋大学 学術総合センター2階 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）
主 催： キヤノングローバル戦略研究所

<講演者プロフィール>

瀬口清之 キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹／アジアブリッジ（株）代表取締役
1982年東京大学経済学部卒業後、日本銀行入行。1991年4月より在中国日本国大使館経済部書記官、帰国後1995年6月より約9年間、経済界渉外を担当、2004年9月、米国ランド研究所にてInternational Visiting Fellowとして日米中3国間の政治・外交・経済関係について研究。2006年3月より北京事務所長。2009年3月末日本銀行退職後、同年4月よりキヤノングローバル戦略研究所研究主幹、杉並師範館塾長補佐（2011年3月閉塾）。2010年11月、アジアブリッジ（株）を設立。

<プログラム>

15:00-15:10	開会挨拶	福井 俊彦（キヤノングローバル戦略研究所 理事長）
15:10-16:30	講演	瀬口 清之（キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹）
16:30-17:00	質疑応答	